



# 新庁舎に続く大型開発「目白押し」

財政見通し  
示せないまま

日本共産党  
市議団

小田急町田駅周辺

原町田一丁目地区

現庁舎跡地

コンベンションホール

リニア新幹線

230億円

「男女平等社会の形成の促進に関する施策の推進を図り、男女平等推進に関する市民の自主的活動を支援する」ことが明記されています。「男女平等参画都市宣言」をしている自治体として、貸し部屋にするのではなく、もっと男女平等推進事業をおこなうことが必要です。

男女平等推進センターの活動室と多目的室を有料化し、専用室をなくして貸し部屋にする条例が日本共産党以外の賛成で可決されました。

## 男女平等推進センター活動室などを貸し部屋に

男女平等推進センター条例の第1条には「男女平等社会の形成の促進に関する施策の推進を図り、男女平等推進に関する市民の自主的活動を支援する」ことが明記されています。貸し部屋にする条例が日本共産党以外の賛成で可決されました。

2011年12月議会に提案され、継続審査となっていた「市立公園駐車場有料化条例」。市民からの批判の声に押しされ、市長は、一度は「撤回」しましたが、今議会に再提案し、自民、公明の賛成多数で可決されました。

## 市立公園駐車場有料化条例が可決

「まちだ未来づくりプラン」(基本計画)で「都市間競争に負けない」まちづくり推進を中心に位置付けた石阪市政。230億円の巨費を投じた新庁舎建設にとどまらず、次は、小田急町田駅周辺地区(北口ターミナル)開発や原町田3丁目地区(コンベンションホール)建設、原町田1丁目地区(JR町田駅南口)開発など中心市街地の大型開発が目白押しです。石阪市長は、リニア中央新幹線の最寄り駅(橋本)を「空港」にみたてたまちづくりを強調しました。「今後の大型開発にどれだけお金がかかるのか?」(殿村健一市議)との質問に、「今後検討していく」(担当部長)と、無計画で無責任な答弁をしました。日本共産党は、新庁舎建設と連動した大型開発への税金の無駄遣いをやめて、市民のいのちと暮らしを第一にした市政への転換を求めました。

## 大型開発にいくらお金がかかるのか? 今後検討していく(担当部長)

町田市議会2012年第1回定例会が、2月27日～3月28日までおこなわれました。大型開発と受益者負担を推進する予算や条例が提案され、一般会計予算は多数で可決、日本共産党は反対しました。また、「市立公園駐車場有料化条例」と「男女平等

町田市は、本来の役割を果たすべきです!

「住民福祉の増進」が自治体の「一番の仕事」

推進センター活動室有料化条例」も多数で可決しました。また、日本共産党が提出した「電気料金の値上げによる国民負担増に反対する意見書」が、共産、民主社民ネット、公明、自民の一部賛成で可決しました。

### 中心市街地まちづくり計画図



\*「まちだ未来づくりプラン」に示された計画図(2駅名記入)

## 介護保険料基準額で1万1600円(年)も値上げに

今年、4月から介護保険制度と後期高齢者医療保険料が改定になり、いずれも保険料が大幅に上がることになりました(左表参照)。日本共産党市議団は、「介護保険料値上げ条例」と後期高齢者医療保険料値上げの予算に反対しましたが、自民・公明・民主の賛成多数で可決されました。引き続き保険料引き下げと制度の改善を求めてがんばります。

### 介護保険料(3年ごとに改定)

所得段階	保険料《月額》	年間保険料(値上げ分)	値上げ率
世帯非課税 80万円以下(2段階)	1,975円→2,460円	29,500円 (5,800円)	24%増
世帯課税 80万円以上(第4段階)	3,950円→4,920円	59,000円 (11,600円)	24%増
本人課税190万以上 200万未満《第7段階》	4,540円→6,880円	82,600円 (28,100円)	51.6%増

### 後期高齢者医療保険料(2年ごとに改定)

均等割	所得割	平均保険料	値上げ率《前年度比》
37,800円 →40,100円	7.18% →8.19%	84,527円 →94,640円	10.3%増